

まえがき

この取扱説明書は「TP-700A 22L」の機能をフルに活用するためのガイドブックです。すでにプレス機で経験をお持ちの方にも、再確認のためにお役にたつものにまとめました。

「TP-700A 22L」を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。万が一使用中に分からないことや、具合の悪いことがおきたときは、きっとお手元でお役にたちます。

研究改良の結果、取扱説明書の中に、お買い上げの製品と細部で異なる場合もあります。製品またはこの取扱説明書の内容についてご質問がおありのときは、下記までお問い合わせ下さい。

本機に付属する取扱説明書、マニュアル等を無断で複写複製することを禁止します。

- 製品またはこの取扱説明書の内容についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

ホリゾン・インターナショナル株式会社

H & F 事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-6-4
TEL.0422-48-5119(代) FAX.0422-48-5009
www.hando-horizon.com
本製品のお問い合わせ hf.info@horizon.co.jp

目次

ご使用の前に

安全にお使いいただくために	3
設置上のご注意	4
使用上のご注意	5
梱包品を確認する	7
本機を設置する	8
各部のなまえ	10

プレスをお願いします

電源を ON にする	12
プレス時間とヒーター温度を設定する	13
プレス荷重を設定する	14
生地をセットする	16
転写シートをのせる	17
転写をスタートする	18

こんなこともできます

生地のしわを伸ばす（乾燥モード）	20
増し締めモードでプレスする	22
皿やタイルなど厚みのあるものに転写する	24
非接触乾燥の方法	26
下こてを違うサイズに交換する	28
節電（ECO）モードの設定について	30

こんなときは

転写しない・接着があまい	32
裏写りする	34
ボタンやポケットの型がつく	35
生地が汚れる	36
転写した絵柄が変色する	37
フィルターを清掃する	38
故障したかなと思ったとき	39
エラー表示が出たとき	40

付録



主な仕様	43
オプション	44

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている手順ならびに安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解できるまで操作ならびに保守を行わないでください。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、本機を指定する方法で使用する場合にのみ有効です。この取扱説明書に書かれていない方法や目的で使用する場合は安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考えください。

この取扱説明書では、お守りいただきたい注意事項を「警告」と「注意」に分けて表示してあります。

-  **警告** もしお守りいただけないと人身事故につながる恐れのある注意事項は、「警告」という見出しで挙げてあります。
-  **注意** もしお守りいただけないと機械の破損や故障につながるおそれのある注意事項は、「注意」という見出しで挙げてあります。

絵表示の意味



絵表示は、注意・警告を促す内容があることを示すものです。

例：



感電注意



絵表示は、注意・警告を促す内容があることを示すものです。

例：



分解禁止



絵表示は、行為を規制したり指示する内容を示すものです。



ポイント 操作上のコツについて説明しています。




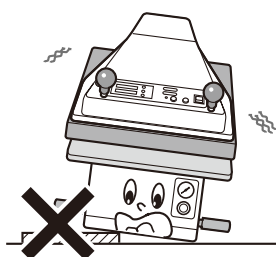
重要 作業中、気をつけていただく必要のあることについて説明しています。



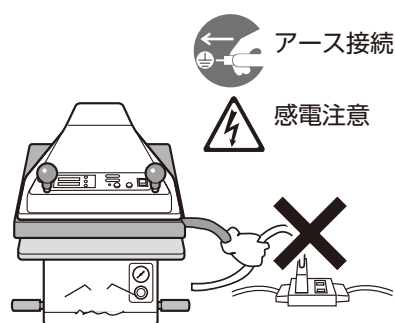
注記 機能上の制限や操作に対する制限について説明しています。

設置上のご注意

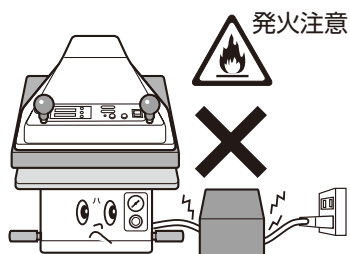
本機の総質量は 85kg です。床や土台が不安定な場所への設置はしないでください。転倒や故障の原因になります。(平らで丈夫な場所へ設置してください。ヒーター部を横に動かすので障害物がないところに設置してください。)  設置スペースは 8 ページ参照



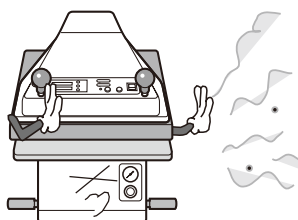
電源は必ず専用コンセントを使用し、テーブルタップは使用しないでください。アースは必ずとってください。感電や火災の原因になります。



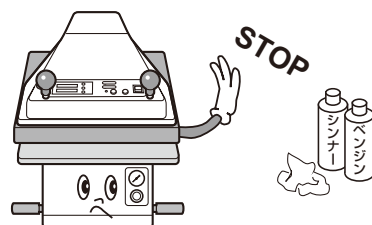
電源コードの上に重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。



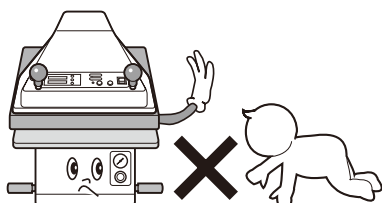
ホコリのある場所に設置しないでください。火災や故障の原因になります。



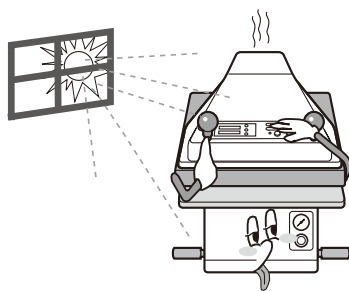
アルコール・シンナーなど可燃物を本機の近くに置かないでください。火災の恐れがあります。



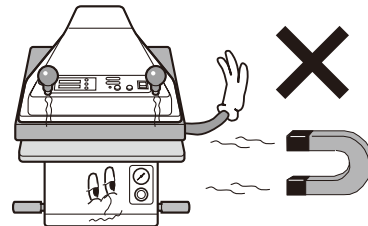
幼児の手の届かない場所に設置してください。



直射日光の当たる場所、高温多湿になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。



強い磁気が発生する器具の近くに置かないでください。誤動作する可能性があります。

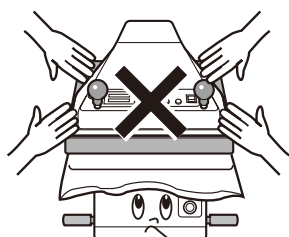


使用上のご注意

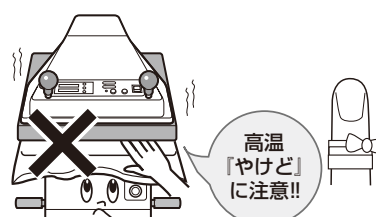
ヒーターは約 220℃に加熱されます。ヒーターやその周辺に触れないでください、やけどをする恐れがあります。



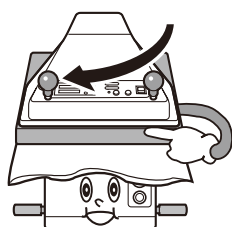
操作は必ず一人で行ってください。ケガをする恐れがあります。



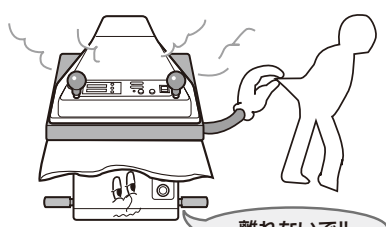
プレス中は、ヒーター部の下に手を入れないでください。ケガややけどをする恐れがあります。



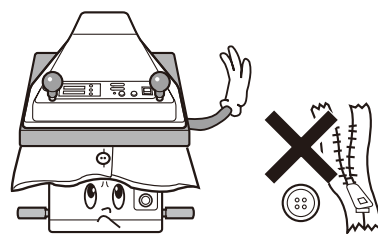
必ずヒーター部を正面に戻してからプレスを行ってください。



プレスしたままその場を離れないでください。万が一機械が故障したときに火災となる恐れがあります。

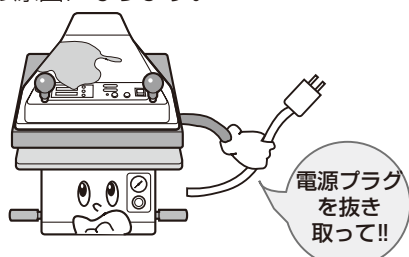


ボタンやファスナーをプレスしないでください。変形する恐れがあります。

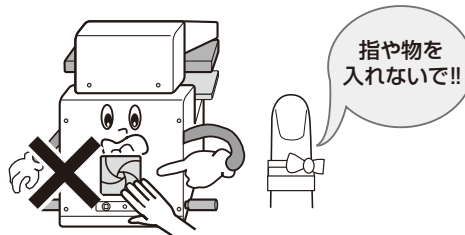


本機に液体がかかったときは、ただちに電源スイッチを OFF にしてから電源プラグを抜き、ふき取ってください。

また、内部に入ったときは、ご購入店に点検、修理をご相談ください。その状態で使用を続けると、感電や故障の原因になります。



本体背面のファンに指や物を入れないでください。ケガや故障の原因になります。また、週に一度は本体背面のフィルター清掃 (P.38) をしてください。また、布きれ、糸くずなどの巻き込みに注意してください。もし巻き込んだときは必ず電源を OFF にしてから取り除いてください。

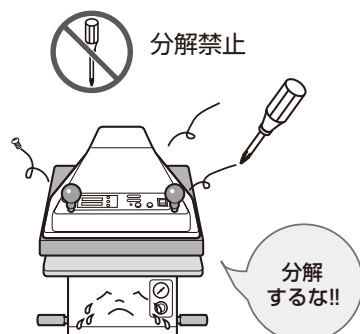


使用上のご注意

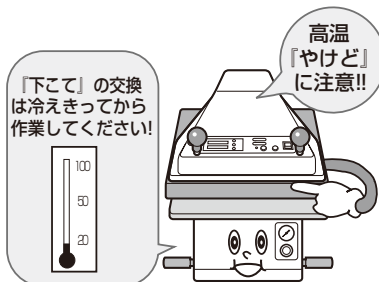
ヒーター面の清掃は、電源をOFFにして、本機が充分冷えたことを確認してから行ってください。



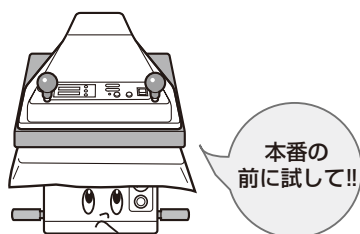
分解や改造は絶対にしないでください。



『下こて』の交換は、電源をOFFにして、本機が充分冷えたことを確認してから行ってください。

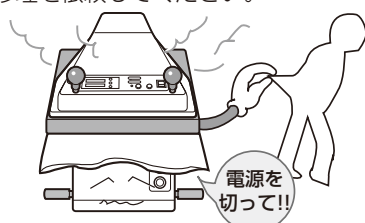


現物でプレスする前に、必ず試し生地等を使ってテストしてください。

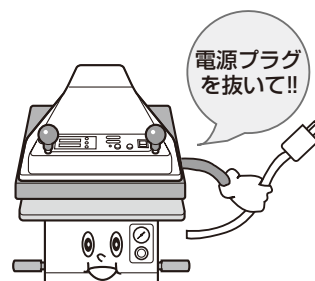


使用中、本機から離れないでください。使用後は電源スイッチをOFFにしてください。

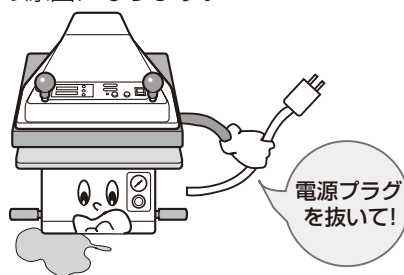
異常な発熱や煙が出たときはただちに電源をOFFにしてご購入店に点検、修理を依頼してください。



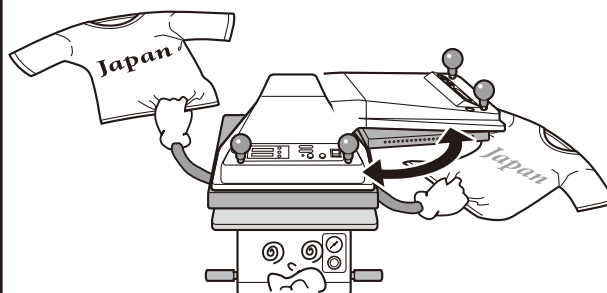
長時間で使用にならないときは、プラグをコンセントから抜いてください。



本機から油漏れを発見したときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグを抜き、ご購入店に点検、修理を依頼してください。この状態で使用を続けると故障の原因になります。



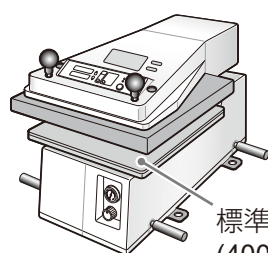
プレス作業を早いサイクルで長時間行わないでください。内部のモータに負荷がかかり、モータの保護機能が働くことがあります。推奨する使用サイクルは5回/分です。



梱包品を確認する

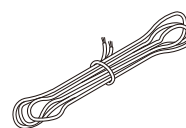
本機をお使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。

☐ TP-700A 22L 本体 1 台



標準下こて
(400 x 500 mm)

☐ アース線 1 本



☐ 取扱説明書 1 冊



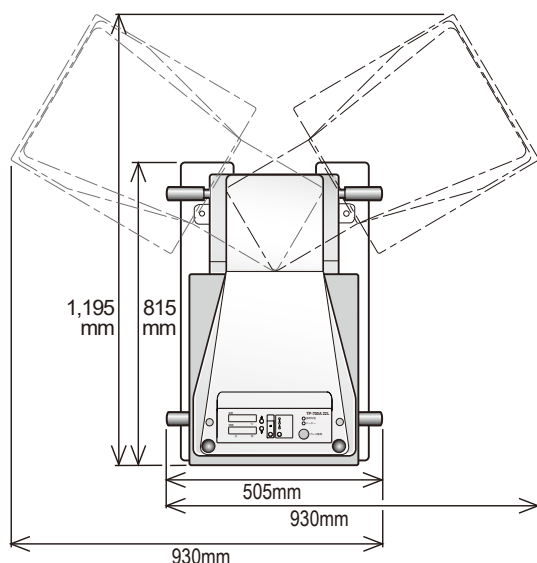
☐ 保証書 1 枚



本機を設置する

1

本機を設置位置に置きます。



⚠ 警告



幼児の手の届かない場所に設置してください。

⚠ 注意



本機の質量は約 85kg です。水平で本機の質量を考慮した場所に設置してください。

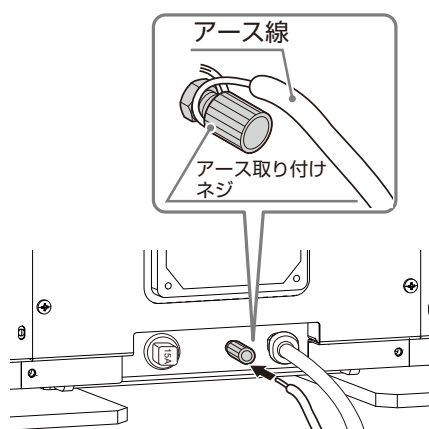


ポイント

- ・ 本機の設置スペースは 930 x 1,195mm です。
- ・ ヒーター部をスイングさせることを考慮して、障害物がない場所に設置してください。

2

アース線を接続します。



アースの取り付けネジにアース線を巻きつけ、ネジで固定し、アース線のもう片方の端を接地してください。

このページは空白ページです。

各部のなまえ

下ゴテ高さ調整モード

皿やタイルなど厚みのある素材をプレスしたり、乾燥機として使用するときのモードです。

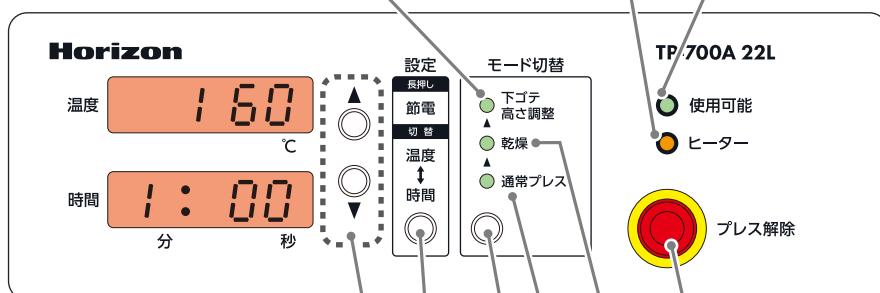
 24 ページ

ヒーターランプ

ヒーター加熱中に点灯します。

使用可能ランプ

ヒーターが設定温度に達したら点灯します。



UP・DOWN ボタン

プレス時間とヒーター温度が変更できます。プレス時間とヒーター温度を設定してください。

設定切替ボタン

プレス時間やヒーター温度を変更したいときに、変更可能な状態に切り替えるボタンです。また、節電（ECO）モードに切り替えるときも、このボタンを押します。

 30 ページ

プレス解除ボタン

プレス動作を途中で止めたいときや、下こてを最下位置に戻すときに押します。

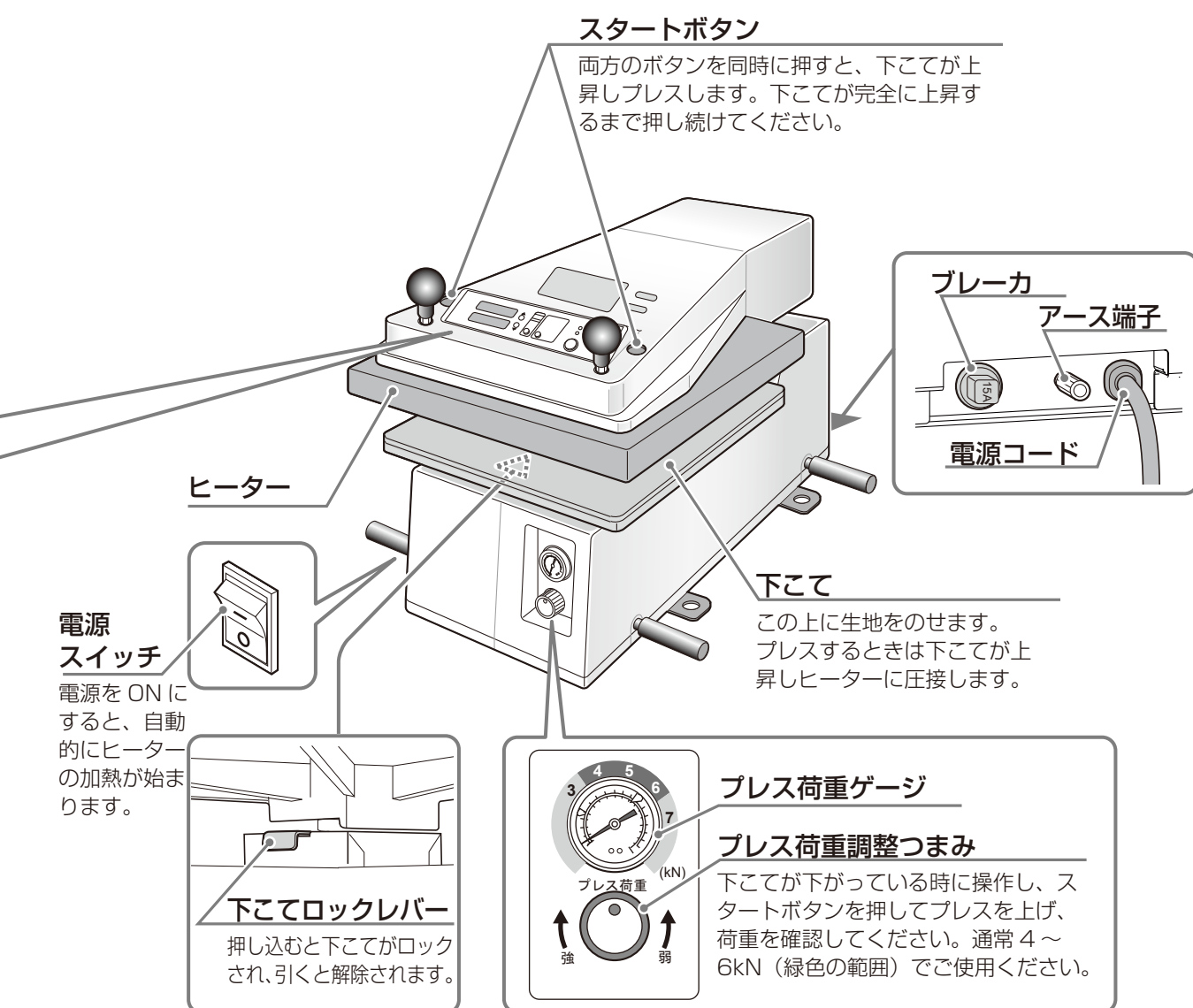
乾燥モード

生地を乾燥させるときや、しわを伸ばすときに使用します。

 20 ページ

通常プレスモード

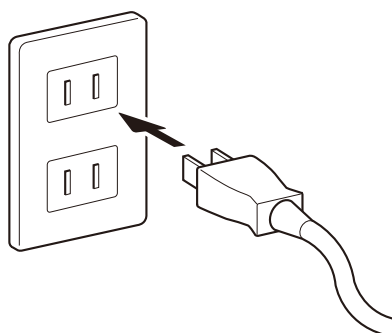
モード切替ボタン



電源を ON にする

1

電源プラグをコンセントに差し込みます。



警告

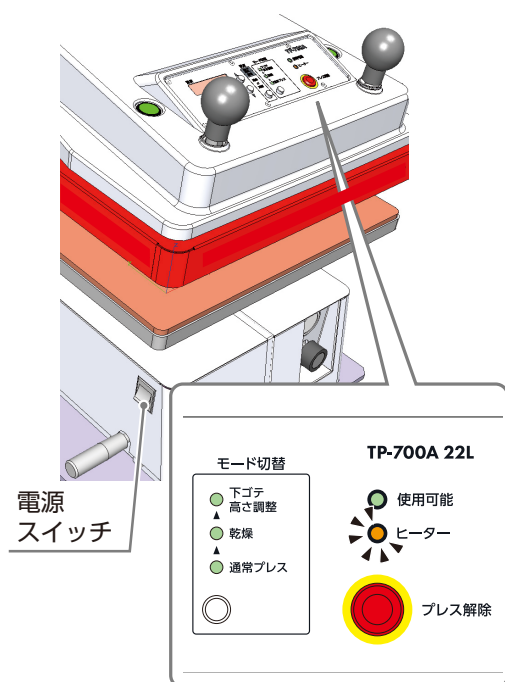


- 電源は必ず専用コンセントを使用し、タコ足配線はしないでください。感電や火災の原因になります。

- 電源スイッチを ON にすると、ヒーターの加熱が始まります。ヒーターやその周辺は高温なので触れないでください。やけどをする恐れがあります。

2

電源スイッチを ON にします。



ヒーターランプが点灯し、
ヒーターの加熱が始まります。

もし、ヒーターランプが点滅している場合は、プレスが下まで下がっていません。プレス解除ボタンを押してプレスを下げると、ランプが点灯に変わり、加熱が始まります。

電源スイッチを ON にした直後には、1秒間ソフトウェアの情報が表示されます。

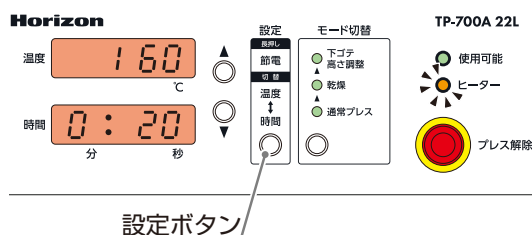
温度
700℃ ← ①機種コード (TP-700A 22L の場合は 700)
時間
1:25 ← ②バージョン (この場合は 1.25)
分 秒

修理依頼やお問い合わせのときには、その内容と共に、①と②と機械番号（背面のシールに印字）をお伝えください。

プレス時間とヒーター温度を設定する

1

設定ボタンを押して変更したい方のデジタル表示を点滅させます。



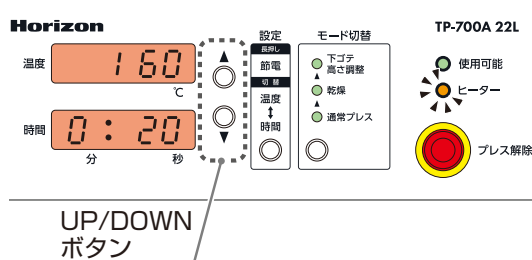
ポイント

設定ボタンを 1 回押すと「(プレス) 時間」、もう 1 回押すと「(ヒーター) 温度」が点滅し、さらにもう一度押すとどちらも点滅していない状態に戻ります。

プレスをしましょう

2

UP ボタンあるいは DOWN ボタンを押して、目的の数値に合わせます。



1

1 ~ 2 を繰り返し、プレス時間とヒーター温度の両方を設定してください。

ポイント

- ・ UP ボタンあるいは DOWN ボタンをそれぞれ長押しすると数値が早く進みます。
- ・ プレス時間、ヒーター温度は、転写素材に合わせて設定してください。

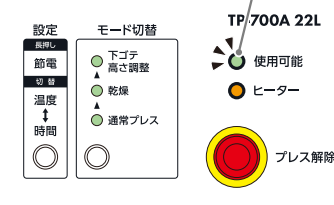
3

設定ボタンを押してデジタル表示が点滅していない状態に戻します。

ポイント

- ・ 点滅していない状態の温度表示は、ヒーターの現在の温度を示します。
- ・ ヒーターが設定温度に達すると、使用可能ランプが点灯します。(150°Cに達するまでに約 13 分かかります。)

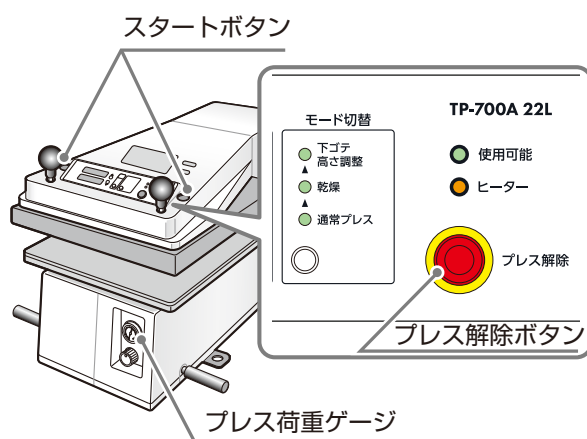
使用可能ランプ



プレス荷重を設定する

1

スタートボタンを両手で同時に押し、プレス荷重ゲージでプレス時の最高値を読みとります。



重要

出荷時には、プレス荷重が非常に弱く設定されています。

初めてご使用になるときは、適正な荷重になるように調整してください。



ポイント

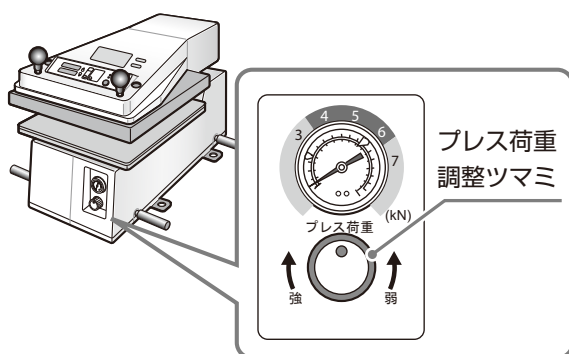
- ・スタートボタンは下こてがヒーターに密着するまで押し続けてください。途中で手を離すとプレスせずに下こてが下降します。
- ・プレスを途中で止めたいときは、プレス解除ボタンを押してください。

- 設定時間プレスした後下こては下がります。
- ゲージの荷重値は最高点より少し下がった位置で止まります。
- 設定されたプレス時間を待たなくても、プレス解除ボタンを押すと、下こては下がります。

2

プレス荷重調整ツマミで調整します。

- 通常、4～6kN（緑色の範囲）でご使用ください。黄色の範囲でも使用することはできますが、プレスが不安定になったり、機械に過負荷がかかります。黄色の範囲で長時間のご使用はさけてください。



手順

1

で読みとった荷重値が設定したい値より小さいときはツマミを時計方向に回して荷重値を上げます。

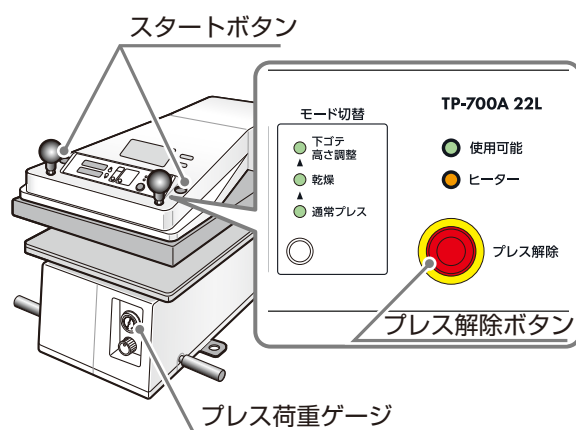


ポイント

ツマミは少しずつ回してください。

3

再びスタートボタンを両手で押して、プレスした状態で最高荷重値を読みとります。



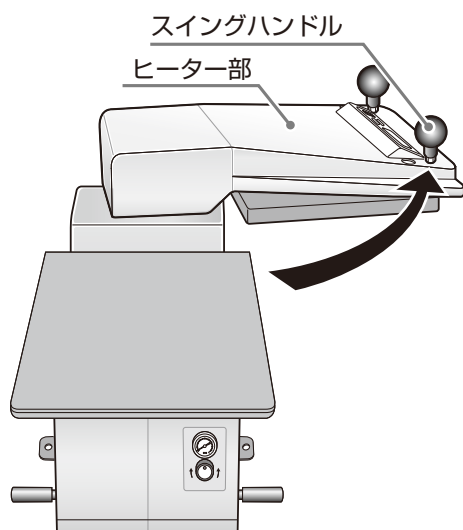
プレス荷重を再び変更するときは、プレス解除ボタンを押し下こてを下げ、条件にあったプレス荷重に設定されるまで 手順 2 から繰り返してください。

プレスをしましょう

生地をセットする

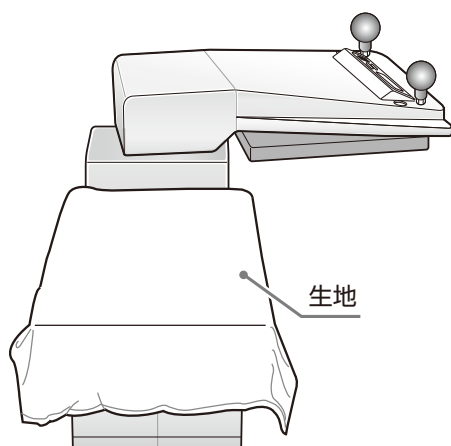
1

スイングハンドルを持ち、ヒーター部を右側にスイングさせます。



2

下こての上に生地（Tシャツなど）を転写したい面を上にしてのせます。

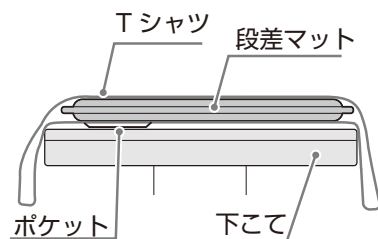


重要

正しく転写されるまで試し用の生地を使ってテストしてください。

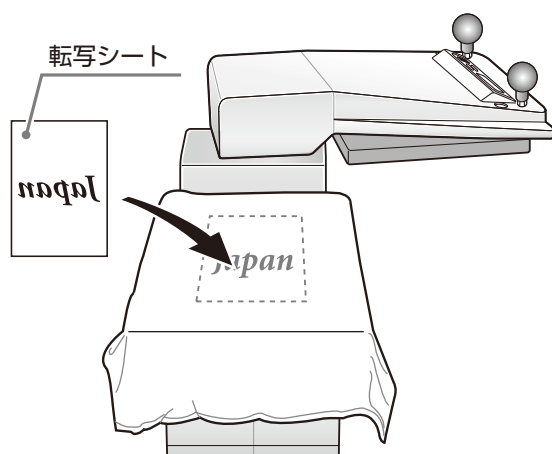
ポイント

- ・しわができないように生地を広げてください。
- ・生地にポケットなどの段差があるときは、段差マット（オプション）を使用すると、跡がつきません。



転写シートをのせる

転写シートを生地の転写したい部分に
裏表に注意して置きます。



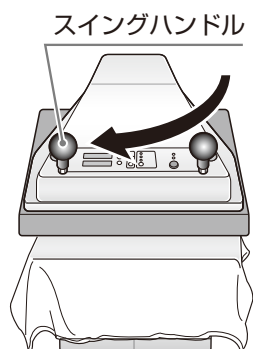
重要

そのままプレスするとヒーターに引っ付く恐れのある素材を使用するときは、テフロンシートまたはシリコン紙を上にはひいてください。

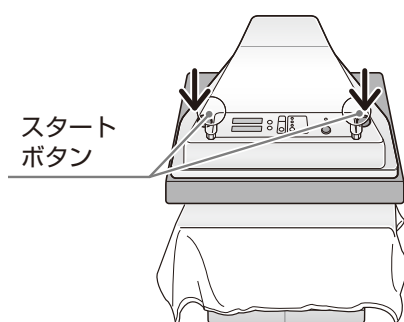
プレスをしましょう

転写をスタートする

- 1 スイングハンドルを持ち、ヒーター部を正面に戻します。

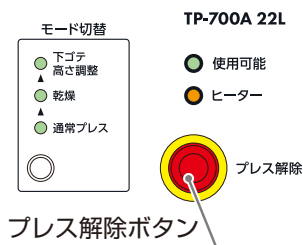


- 2 スタートボタンを両手で同時に押します。

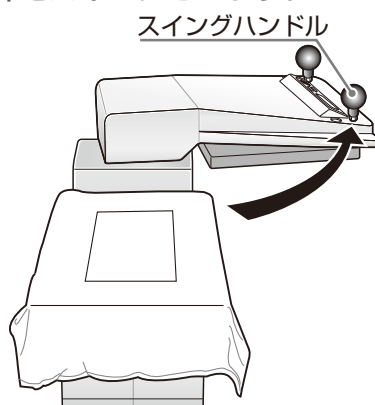


ポイント

- ・ スタートボタンは下こてがヒーターに密着するまで押し続けてください。途中で手を離すとプレスせずに下こてが下降します。
- ・ プレスを途中で止めたいときは、プレス解除ボタンを押してください。



- 3 下こてが下降したらスイングハンドルを持ち、ヒーター部をスイングさせます。



4

生地を取り出して、転写シートをはがします。
転写方法の詳細は各取扱説明書をご覧ください。



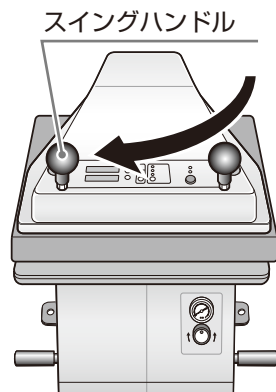
ポイント

- ・ 同じ条件で転写を行う場合は、「生地をセットする」(16 ページ) から再び手順を繰り返し行ってください。
- ・ 生地や転写シートの素材を変えたい場合は、「プレス時間とヒーター温度を設定する」(13 ページ), 「プレス荷重を設定する」(14 ページ) を行ってから「生地をセットする」(16 ページ) から再び手順を繰り返し行ってください。

プレスをしましょう

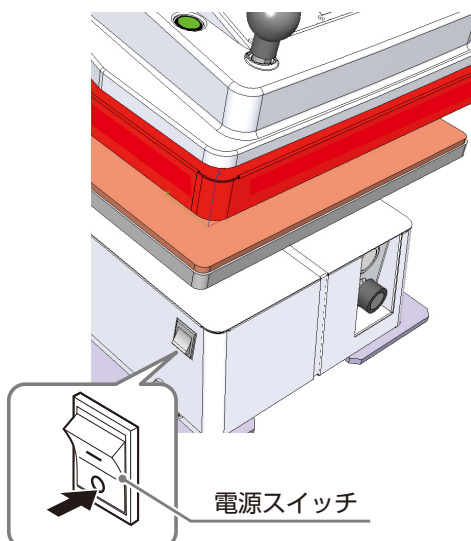
5

スイングハンドルを持ち、ヒーター部を正面に戻します。



6

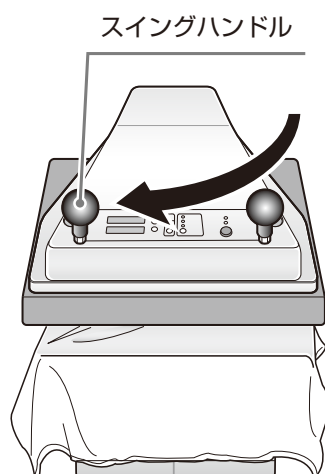
作業が終わったら電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



生地やしわを伸ばす（乾燥モード）

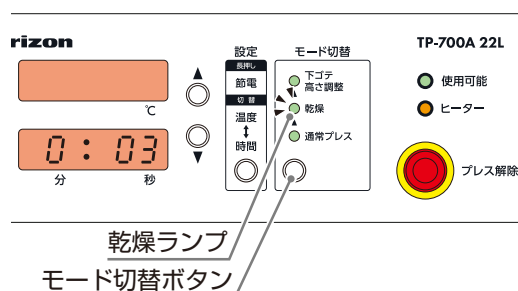
1

生地やしわを伸ばして下こての上にのせ、スイングハンドルを持ちヒーター部を正面に戻します。



2

モード切替ボタンを押して「乾燥」ランプを点灯させます。

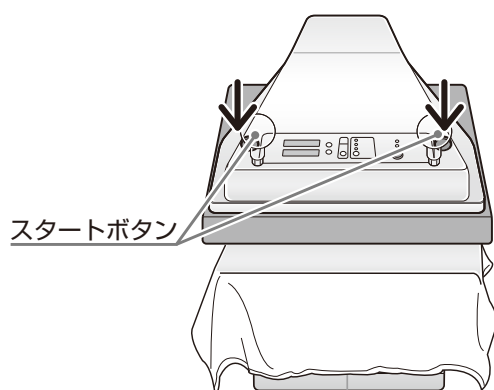


ポイント

乾燥時間は標準で3秒ですが、設定ボタンを押して時間のデジタル表示を点滅させると、UPボタン、DOWNボタンで変更出来ます。

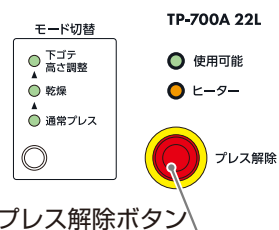
3

スタートボタンを両手で同時に押します。



ポイント

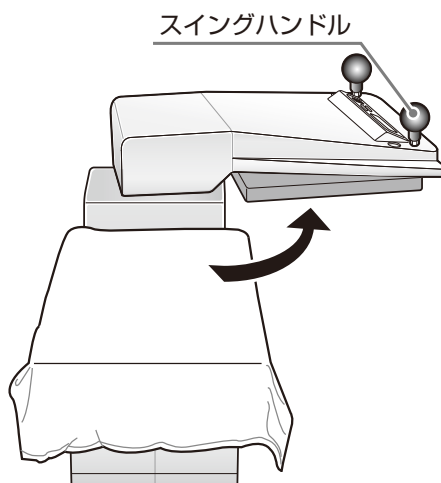
- ・スタートボタンは下こてがヒーターに密着するまで押し続けてください。途中で手を離すとプレスせずに下こてが下降します。
- ・プレスを途中で止めたいときは、プレス解除ボタンを押してください。



- ・1回の乾燥動作が完了すると、「通常プレス」モードに戻ります。

4

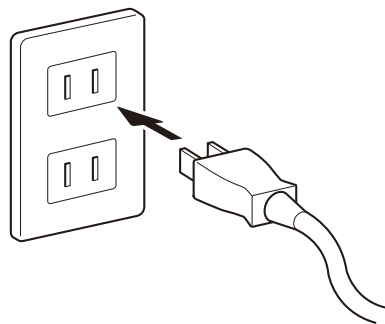
下こてが下降したら、スイングハンドルを持ち、ヒーター部をスイングさせます。



増し締めモードでプレスする

1

電源プラグをコンセントに差し込みます。



増し締めモードとは

このプレス機は最高の荷重として、7kNでプレスすることができますが、プレスを長時間すると、徐々に荷重が逃げてしまいます。この弱まった荷重を回復させるのが増し締めモードです。通常、電源をONにしたときは増し締めモードではありません。

⚠ 警告



- 操作は必ず一人で行ってください。ケガをする恐れがあります。
- 電源は必ず専用コンセントを使用し、タコ足配線はしないでください。感電や火災の原因になります。
- 電源スイッチをONにすると、ヒーターの加熱が始まります。ヒーターやその周辺は高温なので触れないでください。やけどをする恐れがあります。

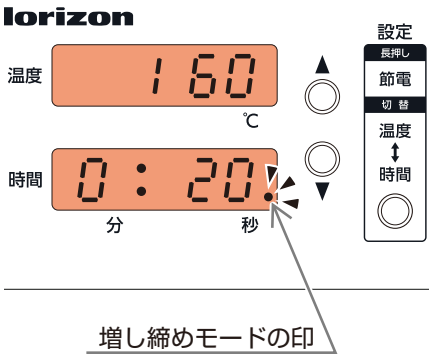
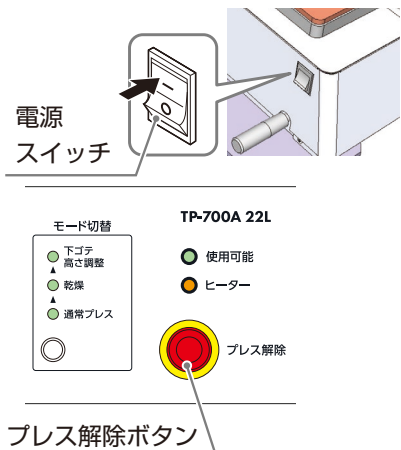


注記

- ・ 増し締め時に異音があることがありますが、油圧の圧力調整のためで、故障ではありません。

2

プレス解除ボタンを押したまま、電源スイッチを ON にします。



プレス時間を表すデジタル表示の右端に印が表示されます。

3

「プレス時間とヒーター温度を設定する」(13 ページ) 以降の作業を行ってください。

このように表示されます

皿やタイルなど厚みのあるものに転写する

皿やタイルなど大きな圧力をかけると破損する物に転写する場合など、上昇する下こてを途中で止めることで、圧力を少し下げて転写する方法があります。

1

電源スイッチを ON にします。

警告



- 被転写物が破損しないよう、以下の手順に従って転写前にヒーターと下こてのすきを充分確認してください。
- ヒーターやその周辺は高温なので、触れないでください。やけどをする恐れがあります。

2

ヒーター温度とプレス時間を設定します。



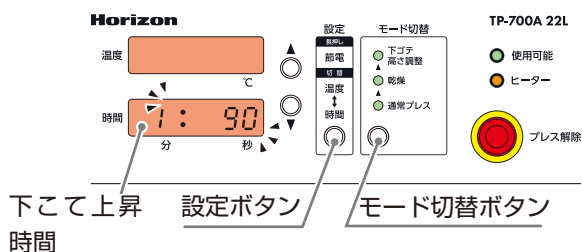
13 ページ参照

3

モード切替ボタンを押して「下ゴテ高さ調整」ランプを点灯させます。

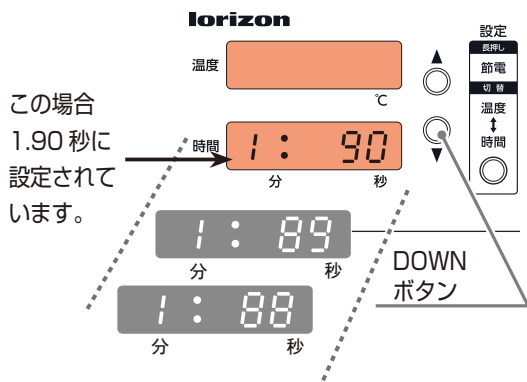
その後、設定ボタンを押して、下こて上昇時間を点滅させます。

- 初期値は、1.9 秒です。



4

DOWN ボタンで、下こて上昇時間を短くします。

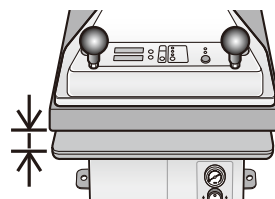


- 1 回押すごとに、0.01 秒ずつ変わります。

- UP ボタンで上昇時間が長くなります。

- 設定可能な最短時間は、1 秒です。
そのとき、下こてとヒーター間のすき間は、約 55mm になります。

約 55mm



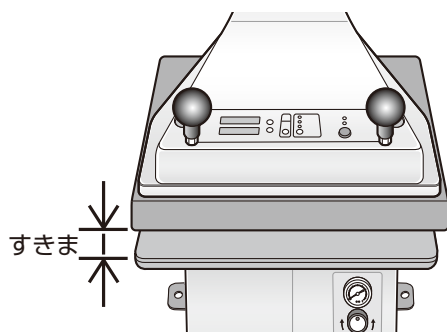
5

設定ボタンを押します。

下こて上昇時間が、プレス時間へ変わり設定完了です。

6

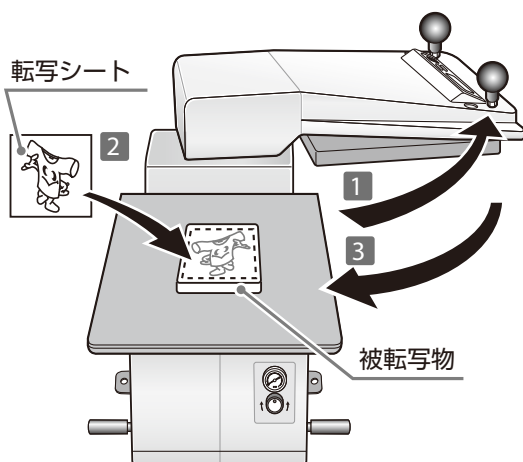
下こてを上げて、すきまを確認します。



- 1 両方のスタートボタンを下こてが上がりきるまで押します。
- 2 下こてが上がったときのすきまが適切（ヒーターにより被転写物が破損しない）か確認してください。
- すきまを再調整したいときは、手順3から6を繰り返してください。

7

転写します。



- 1 ハンドルを持ち、ヒーターを移動させます。
- 2 下こての上に**試し用**の被転写物と転写シートを置きます。
- 3 ヒーターを戻します。
- 4 両方のスタートボタンを下こてが上がりきるまで押します。
- 転写が始まり、設定したプレス時間経過後、下こては下がります。
- 5 転写が成功したら、実際の被転写物で行ってください。
- すきまを変更したいときは、手順3から6を繰り返してください。
- ヒーター温度かプレス時間を変更したいときは、13 ページを参照してください。
- 電源 OFF にすると、変更した下こて上昇時間はリセットされます。

正確な位置にすきまを調整します

非接触乾燥の方法

下こてとヒーター間にすき間を作り、Tシャツなどの素材に直接ヒーター部を当てずに乾燥させる方法を説明しています。

1

電源スイッチを ON にします。

警告



- 実際の印刷物を置く前に、以下の手順に従ってヒーターと下こてのすきまを充分確認してください。
- ヒーターやその周辺は高温なので、触れないでください。やけどをする恐れがあります。

2

ヒーター温度とプレス時間を設定します。

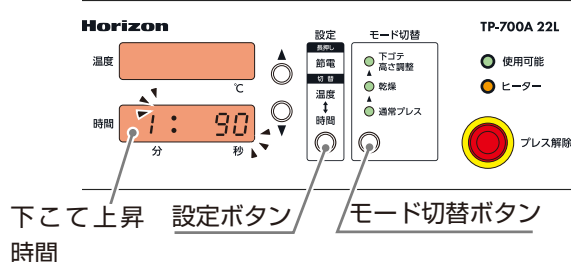


13 ページ参照

3

モード切替ボタンを押して「下ゴテ高さ調整」ランプを点灯させます。

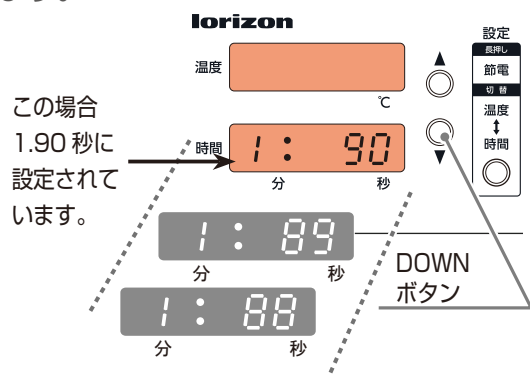
その後、設定ボタンを押して、下こて上昇時間を点滅させます。



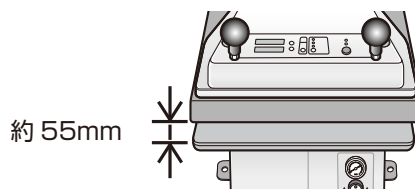
- 初期値は、1.9 秒です。

4

DOWN ボタンで、下こて上昇時間を短くします。



- 1 回押すごとに、0.01 秒ずつ変わります。
- UP ボタンで上昇時間が長くなります。
- 設定可能な最短時間は、1 秒です。
そのとき、下こてとヒーター間のすき間は、約 55mm になります。



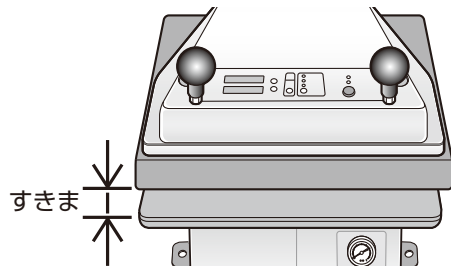
5

設定ボタンを押します。

下こて上昇時間が、プレス時間へ変わり設定完了です。

6

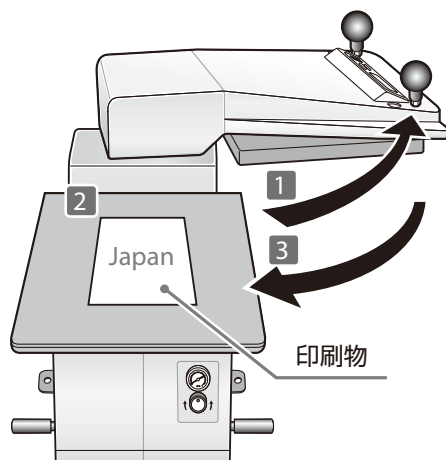
下こてを上げて、すきまを確認します。



- 1 両方のスタートボタンを下こてが上がりきるまで押します。
 - 2 下こてが上がったときのすきまが適切か確認してください。
- すきまを再調整したいときは、手順3から6を繰り返してください。

7

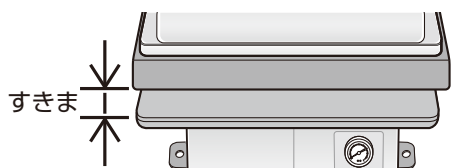
実際に印刷物を置き、仮乾燥します。



- 1 ハンドルを持ち、ヒーターを移動させます。
 - 2 下こての上に印刷物を置きます。
 - 3 ヒーターを戻します。
 - 4 両方のスタートボタンを下こてが上がりきるまで押します。
- 設定したプレス時間経過後、下こては下がります。
 - すきまを変更したいときは、手順3から6を繰り返してください。
 - ヒーター温度かプレス時間を変更したいときは、13 ページを参照してください。
 - 電源 OFF にすると、変更した下こて上昇時間はリセットされます。

下こてとヒーター間のすき間をさらに広げて使いたいとき

オプションの乾燥テーブル DT-700 を使用すると、さらに広げて乾燥させることができます。すき間を最大 145mm まで広げることができるため、帽子や靴などの高さのあるものも乾燥することができます。



二つなこともできます

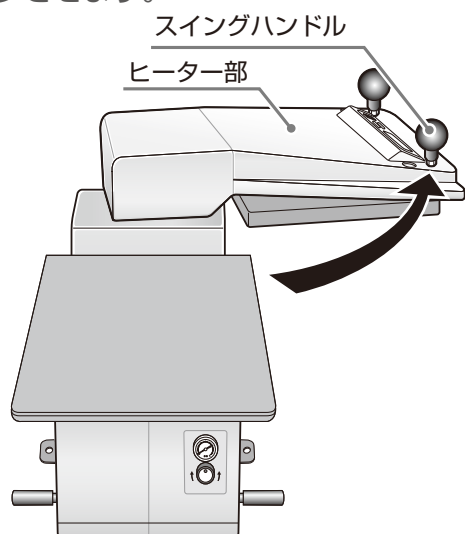
下こてを違うサイズに交換する

1

電源スイッチを OFF にします。

2

スイングハンドルを持ち、ヒーター部をスイングさせます。



警告



使用直後は下こてが高温になっています。必ず本体の温度が充分下がってから、下こての交換を行ってください。やけどをする恐れがあります。

オプションで以下のサイズの下こてがあります。

・ 380 x 280 mm



・ 165 x 165 mm



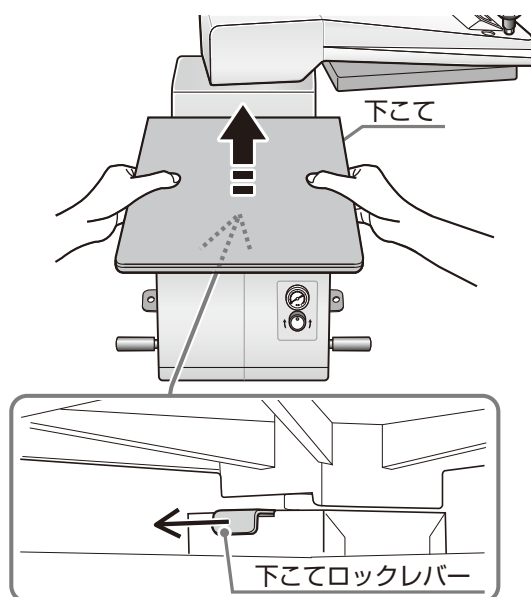
・ 160 x 100 mm



これらの下こては、サイズの小さい転写など、標準の下こてでは作業しづらいときに使用します。また、小さい下こてを使うことで、より大きなプレス圧力で転写することができます。

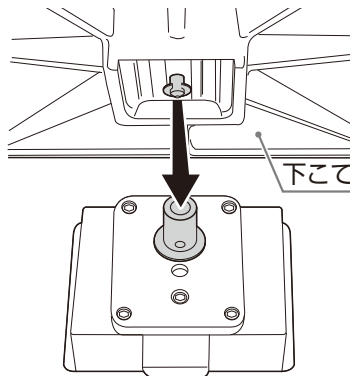
3

下こてロックレバーを手前に引きながら、下こてを上を持ち上げて外します。



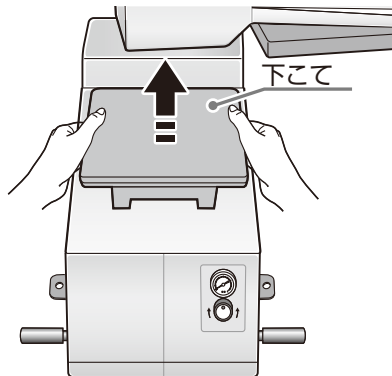
4

取り付ける下こての穴を本体の突起と合わせてはめ込み下まで落とし込みます。



5

下こてを上へ持ち上げても外れないことを確認してください。



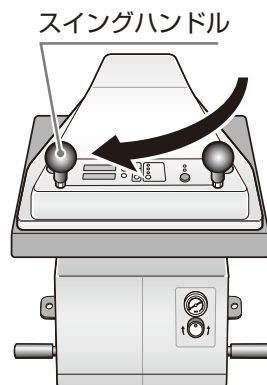
⚠ 注意



外れる場合は、ロックレバーを手で押し込んで、ロックを確実にかけてください。

6

スイングハンドルを持ち、ヒーター部を正面に戻します。



重要

小さい下こてに交換したとき、プレス荷重が大きいままだと、圧力が大きくなり、裏写りなどを起こし、正しく転写できないことがあります。プレス荷重をプレス条件表にあわせ、弱く設定してから行ってください。

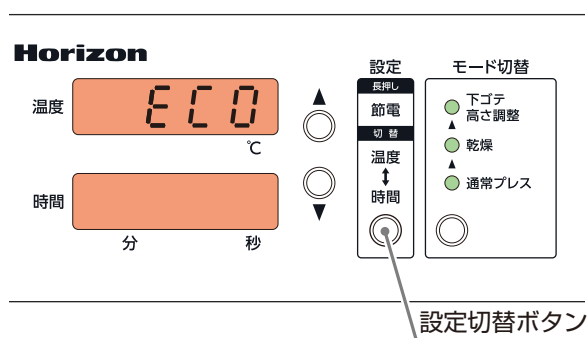
節電（ECO）モードの設定について

節電（ECO）モードについて

ヒーターの温度を 100℃程度まで下げて、消費電力を抑えます。
電源を OFF にしたときに比べて、設定温度まで早く復帰します。

節電（ECO）モードの切り替え方法

- ・しばらく操作を中断する場合は、設定切替ボタンを 5 秒以上長押しして、節電モードに切り替えてください。
- ・操作しないで 1 時間経過した場合は、自動的に節電モードになります。
- ・節電モードのまま 1 時間経過すると自動的に電源スイッチが OFF になります。



解除方法

設定切替ボタンを 5 秒以上長押しすると復帰します。

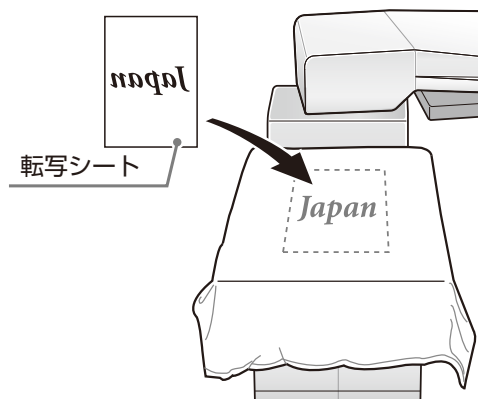
このページは空白ページです。

転写しない・接着があまい

以下の項目を順にチェックしてください。

1

転写シートは裏表逆にして生地においていませんか？



転写シートは裏表に注意して置いてください。

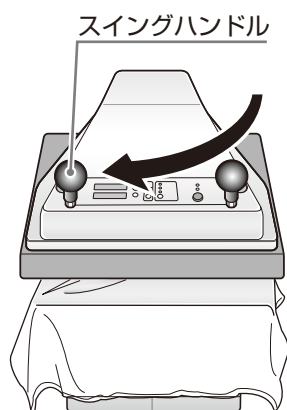
2

お使いの生地は接着可能ですか？

撥水性の生地は、接着が出来ないことがあります。生地に問題があれば、変更してください。

3

プレスするとき、ヒーター部が正面に戻っていますか？



スイングハンドルを持ち、正面に戻してください。

4

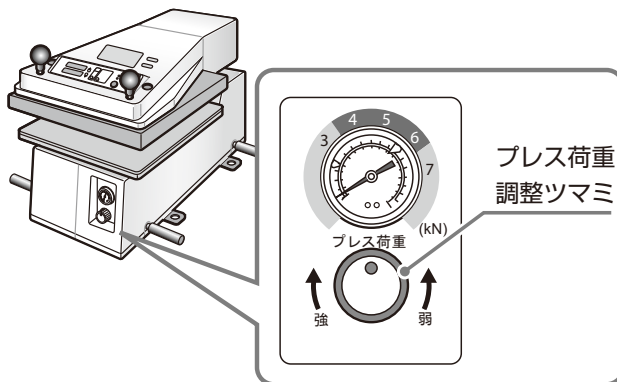
お使いのマーク地、各種転写シートに合った
プレス条件（温度、時間、荷重）が設定されて
いますか？

素材に合うプレス条件に設定してくださ
い。

5

プレス荷重を少し上げて設定してください。

 14 ページ参照



6

増し締めモードで、プレスしてください。

 22 ページ参照

裏写りする

以下の項目を順にチェックしてください。

1

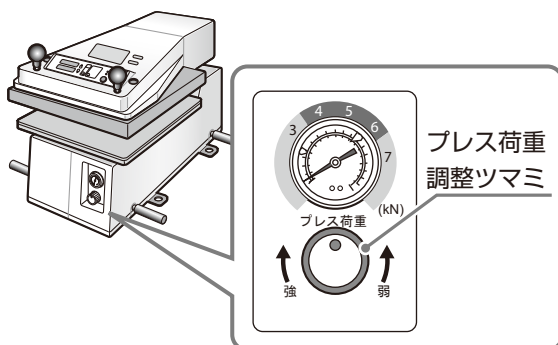
お使いのマーク地、各種転写シートに合ったプレス条件（温度、時間、荷重）が設定されていますか？

素材に合うプレス条件に設定してください。

2

プレス荷重を少し下げて設定してください。

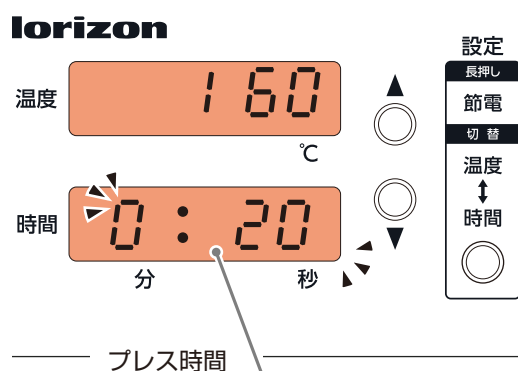
 14 ページ参照



3

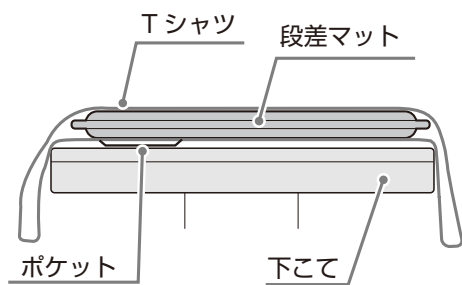
プレス荷重を下げても裏写りする場合は、プレス時間を少し短く設定してください。

 13 ページ参照



ボタンやポケットの型がつく

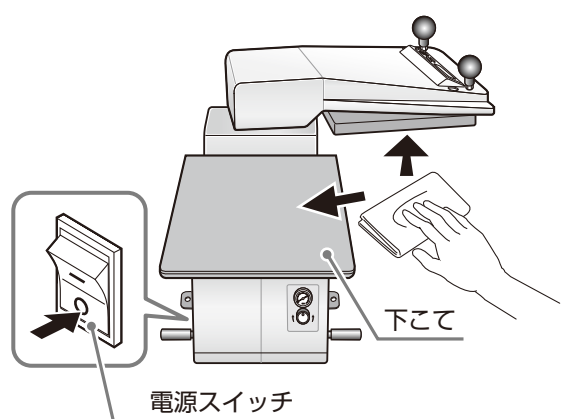
オプションの段差マットを間に挟んでお使い
いただくと、型がつきません。



生地ボタンやポケット、ファスナーな
どの段差があるとき、プレス条件によっ
ては、その型がつくことがあります。

生地が汚れる

ヒーターか下こての表面が汚れています。電源スイッチを OFF にし、ヒーターが十分に冷えるのを待ってから、汚れを拭き取ってください。



転写した絵柄が変色する

ヒーター温度が高すぎます。少し低く設定してください。

 13 ページ参照

Horizon

温度

160

°C

時間

0 : 20

分

秒

設定

長押し

節電

切替

温度

↑

↓

時間

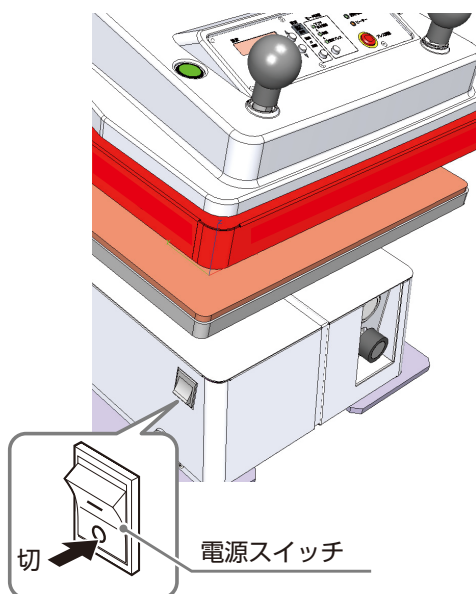
設定

フィルターを清掃する

フィルターに汚れやほこりが付着したときは、清掃してください。

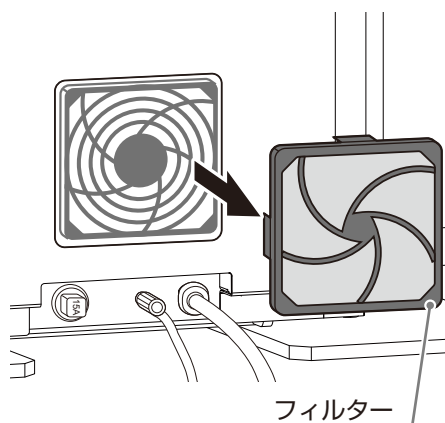
電源スイッチを OFF にします

1



2






機械背面にあるフィルターを外し、清掃します。



3

フィルターを元の位置に取り付けます。

故障したかなと思ったとき

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| ●プレスしたときに異音が生ずる | ➡ | ・下こてが上端で停止したときに鳴る音は、油圧の圧力調整のためで、故障ではありません。 |
| ●ヒーターが熱くならない | ➡ | ・電源プラグを確実に差し込んでください。
・ブレーカのボタンがとび出していないか確認してください。とび出している場合は、電源スイッチを OFF にして、ボタンを押し込んでください。
( 11 ページ参照)
・温度設定値を確認してください。 |
| ●下こては動くがプレス荷重が上がらない。 | ➡ | ・プレス荷重調整つまみが弱側になっていませんか。荷重を上げてください。( 14 ページ参照) |
| ●ブレーカが落ちる | ➡ | ・電源スイッチを OFF にして、ブレーカのボタンを押し込んでください。( 11 ページ参照) 再びブレーカが落ちるようであれば、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。 |
| ●スタートボタンを押しても下こてが動かない。 | ➡ | ・電源スイッチが OFF になっていませんか。
・ブレーカが落ちていませんか。( 11 ページ参照)
・両方のスタートボタンを同時 (誤差 0.5 秒以内) に押していますか。
・ヒーター部がずれていませんか。正面に戻してください。
・下こてが途中の位置で停止していませんか。プレス解除ボタンを押してください。 |
| ●下こてが途中までしか上がらない。 | ➡ | ・プレス荷重調整つまみが弱側になっていませんか。荷重を上げてください。( 14 ページ参照) |
| ●電源スイッチが、自動で OFF になっていた。 | ➡ | ・節電モードのまま操作せず 1 時間以上経過した場合のほかに、ヒーター部の重大な異常を検知すると、自動で電源スイッチが OFF になります。
・ヒーター部の重大な異常を検知した場合は、その異常内容に対応したエラー番号が表示され、しばらくすると自動で電源スイッチが OFF になります。次に電源スイッチを ON にすると、そのエラー番号がエラー履歴として表示されます。次ページからのエラー内容を参照して、対処してください。 |

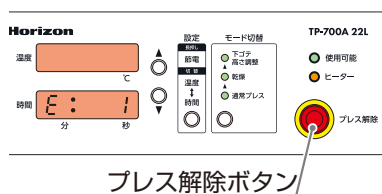
エラー表示が出たとき

本機の使用中にエラー表示が出たときは、以下のように対処してください。

● E:1 と表示されたとき

1

プレス解除ボタンを押し、下こてを上昇させます。



E:1

下こてが布をまき込んだりして、最下位置に戻らなかったときに表示されます。

プレス解除ボタンを押すと下こてが0.1秒間上昇します。原因が取り除ける高さになるまで繰り返し押ししてください。30回以上繰り返すと、上昇せずピッと音で反応します。



ポイント

このとき、プレス解除ボタン以外のボタンは操作できません。

2

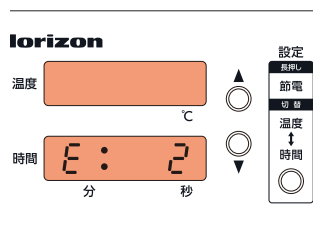
原因を取り除き、電源を OFF にして、10 秒程度待ってから電源を ON にします。

プレス解除ボタンを押しても、下こてが動かない場合は、油圧ポンプモータが過熱している可能性があります。電源を OFF にして、5 ～ 10 分程度待ってから、電源を ON にします。

それでも動かない場合や、エラー表示が消えない場合は、販売店にご連絡ください。

度々エラーが表示される場合は、プレス機内部の故障の可能性があります。電源を ON/OFF して、E:1 エラーの復帰動作を繰り返し実行すると、モータが異常過熱して、故障する可能性があります。

● E:2 と表示されたとき



1

電源を OFF にして、10 秒程度待ってから電源を ON にします。

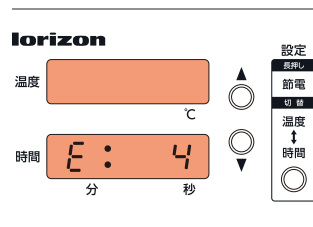
度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

E:2

ヒーターが 60 分以内に設定温度にならなかったときに表示されます。通常は、約 20 分で設定温度になります。(周囲温度 20℃、設定温度 180℃でプレス動作をしないで放置した場合)

電源電圧が低い場合や、使用周囲温度が低い場合に表示される可能性があります。延長コードの使用や、タコ足配線状態の場合には電源電圧が低くなる可能性があります。

● E:4 と表示されたとき



1 しばらく放置してヒーターを冷却して、再度電源を ON にします。

そのとき、エラー履歴として E:4 が表示されます。解除ボタンを押すと、エラー表示が消えます。

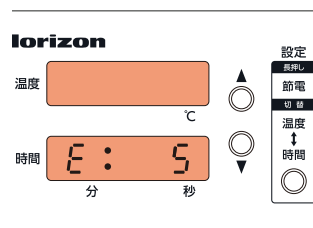
度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

E:4

ヒーターが異常過熱した場合に表示され、5 秒後に、電源が自動で OFF になります。

解除ボタンを押さないで 5 秒経過すると、電源が自動で OFF になります。エラー履歴は消えません。

● E:5 と表示されたとき



1 解除ボタンを押すと、下こてが下がりエラー表示が消えます。

度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

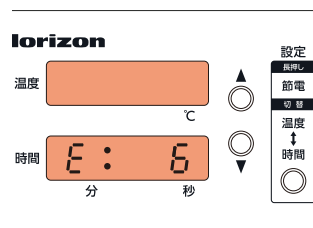
E:5

下こて上昇時、規定時間以内に上昇せずプレス荷重が設定荷重にならないときに表示されます。

プレス荷重調整ツマミを時計方向にいっぱい回して使用したとき、プレス荷重の検知が不安定になり、エラーが表示される場合があります。

このような場合は、ツマミを反時計方向に少し戻してお使いください。

● E:6 と表示されたとき



1 電源を OFF にして、10 秒程度待ってから電源を ON にします。

度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

E:6

ヒーターの温度が上昇しないときに表示されます。ヒーター回路の断線の可能性があります。

ヒーターランプが点滅している場合は、下こてが最下位置まで下がっていません。プレス解除ボタンを押して下こてを下げると、ヒーターランプが点灯に変わり、加熱が始まります。

TP-700A 22L

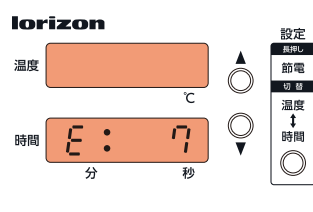
● 使用可能

● ヒーター

ヒーターランプ

● プレス解除 プレス解除ボタン

● E:7 と表示されたとき



1

再度電源を ON にすると、エラー履歴として E:7 が表示されます。解除ボタンを押すと、エラー表示が消えます。

度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

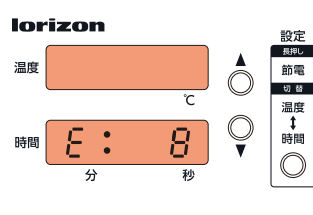
E:7

ヒーターの温度制御が異常な場合に表示されます。

この異常を検知した場合、5 秒後に電源が自動で OFF になります。

解除ボタンを押さないで 5 秒経過すると、電源が自動で OFF になります。エラー履歴は消えません。

● E:8 と表示されたとき



1

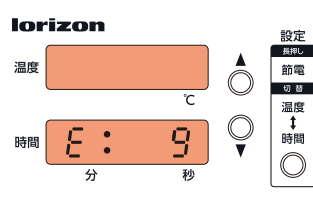
電源を OFF にして、10 秒程度待ってから電源を ON にします。

度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

E:8

温度センサーが異常なときに表示されます。

● E:9 と表示されたとき



1

電源を OFF にして、10 秒程度待ってから電源を ON にします。

度々エラーが表示される場合は、販売店にご連絡ください。

E:9

温度検出回路が異常なときに表示されます。


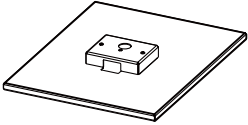
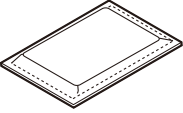

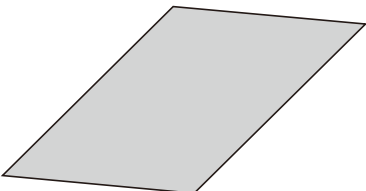
主な仕様

モデル	TP-700A 22L
ヒーターサイズ	400 mm x 500 mm
プレス温度調整範囲	100℃～220℃
プレス荷重	4kN～7kN
プレス圧力設定範囲	標準下こて (50 × 40cm) 2.0～3.5N/cm ² (203～356gf/cm ²) オプション下こて (38 × 28cm) 3.8～6.6N/cm ² (388～673gf/cm ²) オプション下こて (16.5 × 16.5cm) 14.7～25.7N/cm ² (1,500～2,621gf/cm ²) オプション下こて (16.5 × 10cm) 24.2～42.4N/cm ² (2,468～4,324gf/cm ²)
電源	100V 50/60Hz
消費電力	1.3 kW
機械寸法	505 mm (幅) x 815 mm (奥行き) x 480.5 mm (高さ)
質量	85kg
使用周囲温度	+10℃～+30℃

付

録

オプション

下こて	乾燥テーブル DT-700	段差マット
 <p>380 mm x 280 mm 165 mm x 165 mm 160 mm x 100 mm</p>	 <p>400 mm x 500 mm</p>	 <p>440 mm x 320 mm</p> <p>生地ボタンやポケットがある場合、プレス時にそこが段差になり、型がつくのを防ぎます。</p>
<div> <div> <p>ヒートテープ</p>  <p>約12.5 mm x 65 m 巻</p> </div> <div> <p>テフロンシート</p>  <p>450 mm x 550 mm</p> </div> </div>		